

このマニュアルについて

目 的

予期せぬ災害が発生した際、まずは救助活動や医療支援、ライフラインの復旧などの対応が求められますが、様々な被害を被った被災者やそのご家族に対して、「こころのケア」の視点で適切な支援を行うことも大切なポイントです。災害発生時に最初に支援に向かうスタッフは「こころのケア」の専門家でないことも多いと思われそうですが、専門家でなくても必要な支援が提供できるようになることを目指して本マニュアルを作成しました。災害直後の心理的応急処置『サイコロジカル・ファーストエイド』の考え方を中心に、被災者やそのご家族のストレスからの再建のお手伝いができることを特に願って作成しました。

対 象 者

次の方に利用していただくことを想定してマニュアルを作成しました。

- ・災害現場で活動する支援者
- ・現場で一次的なケアを担うことになる関係者（医療関係者・保健福祉関係者等）
- ・支援者の所属する組織や職場の管理者
- ・防災計画担当者

使 い 方

災害の現場で、被災者にできるだけ負担をかけずに支援が行えるよう、『サイコロジカル・ファーストエイド（P.6～）』の考え方を基本に、「こころのケア」を行う上で配慮する要点をまとめています。主には、「災害時のこころのケア サイコロジカル・ファーストエイド実施の手引き原書第2版（アメリカ国立子どもトラウマティックストレス・ネットワーク、アメリカ国立PTSDセンター著／兵庫県こころのケアセンター訳、医学書院、2011年）」及び「心的トラウマの理解とケア第2版（外傷ストレス関連障害に関する研究会 金吉晴編、じほう、2006年）」などを参考・引用して作成しました。平時における研修会や訓練場面などで参考にさせていただくことや、災害発生時に手持ち資料として活用していただくことを想定しています。巻末にはコピーしてご利用いただけるよう普及啓発用の資料などを掲載しています。

用語について

被災者：災害に直接あわれた方のほかに、避難している方も「こころのケア」の対象となってくる可能性があるため「被災者」に含めています。

要援護者：被災者のうち、心身にハンディキャップがあったり、子ども、妊産婦、高齢者など、急激な環境変化に弱いと考えられる方々を「要援護者」として記載してあります。

支援者：公的機関や医療機関などにおいて、災害復旧や支援などにあたる職員を想定しています。